

春季総体 大会規定および申し合わせ事項

- ・ 2015年度（公財）日本サッカー協会競技規則を適用する。
- ・ 登録は、選手18名、指導教員3名、外部コーチ1名、合計22名以内とする。（ただし、学校長についてはベンチ入りができる。）転出、けが、病気による場合は登録メンバーの変更を認める。なおその場合、大会1日目の第1試合までに原本（校印が押されているもの）を再度本部に提出すること。それ以降の大会期間中の変更は認めない。ベンチ入りできる者についても上記の22名以内とする。
- ・ 試合開始30分前には、監督はメンバー表を2部準備し、本部および相手チームに提出する。その際、ユニフォームを決定する。（ただし、最終決定は主審が行う。）
- ・ 飲水タイムの有無については、天候等を考慮して主審が判断する。飲水タイムをとる場合は、試合開始前に両チームに通告し、前後半各1回1分程度とする。
- ・ ベンチは、プログラム記載の左側のチームがコートに向かって左側のベンチに入ること。
- ・ 試合時間は50分ゲームとする。その際、アディショナルタイムの表示は行わない。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、原則5分間とする。インターバルの5分終了同時に後半を開始する。同点の場合は延長戦なしでPK方式により、次回戦進出チームを決定する。なお、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- ・ 選手交代については、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、最大7名までの交代が認められる（一度退いた競技者は再び出場することはできない）。交代手続きは本部で行う。
- ・ 大会期間中、2度の警告を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。退場処分を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。
 - ※ ただし、暴力行為等による退場処分を受けた者については、規律・フェアプレー委員会（正・副専門委員長で構成する）で次以降の試合の出場を検討する。
- ・ ユニフォーム、パンツ、ストッキングは異色のものを2種類用意し、背番号は申し込み用紙に記入されたものに統一すること。
- ・ 試合球は認定5号球を使用する。
- ・ 合同チームの条件
 - （1） 足りないチームAから足りているチームBへ参加
 - （2） 足りない2チームA、Bが合同
- ・ 会場到着後、指導教員は直ちに本部へ連絡をとること。
- ・ 会場の美化に努め、ゴミ等の持ち帰りを徹底し、迷惑をかけないように注意すること。